

抜歯や歯周病が原因に

おくちの相談室

【問い】 介護施設に入所中の90代の母は、ほぼ寝たきりで口からの食事はしていません。先日久しぶりに面会したところ、母の自慢だった歯並びがガタガタになっていることに気付いて驚きました。歯並びが変わることはあるのでしょうか。（長崎市、62歳男性）

【答え】 歯並びが悪くなる原因はいくつかあります。まず、抜歯または歯が脱落したことによる空間があると、歯がそちらへ倒れることがあります。次に歯周病が進行すると、歯を支える骨が減少して今までの場所で歯を支えられなくなり、歯が移動することがあります。また、頬や舌の筋肉が弱くなり、弱くなった方へ歯が倒れることがあります。

のかもしれない。予防策としては、意思疎通ができるのであれば、ご自身でお口の運動（首、顔面、舌などを動かす）を行うのが良いでしょう。食事や会話は口の筋肉を鍛える一番の運動ですが、それができない場合は、同じような運動を筋トレのように自分で行う必要があります。要介護者でなくとも、高齢の方で固いものを避け、柔らかいものを好んで食べたりする場合にも、顔の周りの筋肉が弱ることがありますので注意が必要です。

また、歯が大きく移動している場合は舌や頬を傷つけることもありますので、歯をカバーするためのマウスピースを作ることも必要かもしれません。入所中の介護施設に協力歯科医がいれば、その先生に相談すると良いでしょう。いない場合は訪問診療を受けることができますので、かかりつけの歯科医院、あるいは歯科医師会に、ぜひ一度相談ください。

歯並びの悪化



回答者
脊川 敦
長崎市桜町
せがわ歯科院長

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくするため、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒850-2186001、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。